

## 1 文字式の導入

### 文字とは？

数学では「分からない数」や「変わる数」を使うことが多い  
そんな数を  $a$  や  $x$  などの**文字**を使って表す！

### どうして文字を使うの？

#### 例 1

チョコ 1 個 120 円で、ガムは 1 個 80 円です。  
チョコを 1 個、ガムを 3 個買うと、合計で何円になるでしょうか？  
 $120 \times 1 + 80 \times 3 = 120 + 240 = 360$  なので、合計で 360 円になる。

#### 例 2

チョコを 1 個、ガムを何個か買いました。ガムの個数が分からないけど、何とか式であらわしたい  
ガムの個数が分からないので、ガムの個数を  $a$  としてみる。  
 $a$  個ガムを買ったとすると、合計金額は、 $120 \times 1 + 80 \times a = 120 + 80 \times a$  (円) となる。  
こんな感じに、文字を使うと、式が作れるようになるから便利だね！

あとでガムを 5 個買ったわかったとき、金額を計算することもできる！  
ガムの個数を  $a$  としていたから、 $a$  を 5 にすると、合計金額は  
 $120 \times 1 + 80 \times a = 120 \times 1 + 80 \times 5 = 120 + 400 = 520$  円となる。  
こんな感じで、式を作っておくと、 $a$  を変えるだけで、すぐに合計金額が計算できる！

#### 文字のメリット

- 分からないものを文字にして、式がつかれる
- 文字に数字を入れるだけで、計算できる

文字を使った式には、書き方や計算のルールがあるので、それを今後勉強し

ていこう！

### 文字式の書き方のルール

- $\times$  は省く
- 数字はアルファベットの前に書く
- 文字はアルファベット順にならべる
- 文字の前の 1 は省く
- $\pi$  などのギリシャ文字は、数字とアルファベットの間にかく

例

$$(1) \quad 2 \times a = 2a$$

$$(2) \quad b \times a = ab$$

$$(3) \quad 1 \times x = 1x = x$$

$$y \times (-1) = -1y = -y$$

$$(4) \quad 3 \times r \times \pi = 3\pi r$$

### 文字式の積

文字式同士のかけ算のやり方をまとめる。

- 文字式の前の数字をかける
- 文字はアルファベット順にならべる
- 同じ文字は指数を使って表す

例

$$(1) \quad 2b \times 3a = (2 \times 3)(b \times a) = 6ab$$

$$(2) \quad b \times 3b = (1 \times 3)(b \times b) = 3b^2$$

### 文字式の商

- 数字をわる (分数なら逆数かけ)、後ろの文字は分母に
- 分数にして、数字の部分を約分する
- 分母と分子に同じ文字があったら、なくす
- 分数を整理して、完成 (マイナス符号、分母の 1 に注意)

## 2 文字式と単位、数量の表し方

- 文字と単位を区別したい
- 単位には、( ) をつける
- 例  $a \text{ (kg)}, d \text{ (m)}$
- 代金、速さ、平均
- 整数の表し方、偶数と奇数

## 3 文字への代入、式の値

- 文字と数字の間には、 $\times$  がある。
- 文字のところを数字にかえて、計算
- 例  $2a + 1 = 2 \times a + 1 = 2 \times 5 + 1 = 11$
- 負の数は、( ) をつけて代入する

## 4 文字式の計算、式の加減

- 加減：( ) をはずして、同じ文字の前の数字をたす
- 3つの $\div$ や $\times$ は、順番にやろう！
- 分配法則：数字と( )が並ぶ  
 $3(2a + 4) = 3 \times 2a + 3 \times 4 = 6a + 12$

## 5 関係を表す式

- 等式、不等式で表す
- 以上、以下、未満、より大きいを記号で表す

# 方程式

## 6 方程式の性質

- 両辺に加減乗除してもよい
- 左右をいれかてもよい
- 移項

## 7 方程式の解き方

- 方程式の性質をつかって、 $x = \bigcirc\bigcirc$  にする
- $x$  に答えを代入して、左右が等しくなるか？ 確かめる
- 分数や小数は、何倍かしてなくしてから計算する

## 8 比例式

内側と外側をかける

## 9 方程式の利用

- 分からない数量を文字  $x$  でおく。
- 数量を整理して、方程式を立てる。
- 方程式を解く。
- 解が方程式の答えになっているか？ 数量にあっているか？ 確認する。

## 平面図形

### 10 直線、角、移動

- 直線、線分、半直線、角
- 垂直と平行
- 図形の移動 (平行、回転、線対称、点対称)

### 11 基本の作図

- 垂直二等分線
- 角の二等分線
- 垂線

### 12 円

- 円の中心と半径、直径
- 弧、弦、おうぎ形
- 円の接線
- 円周と面積の公式
- おうぎ形の弧の長さ  $\ell$  と面積の公式  $S$ 、 $S = \frac{1}{2}\ell r$

## 空間図形

### 13 空間図形

- 角錐と円錐
- 展開図
- 正多面体
- 回転体

### 14 直線と平面の位置関係

- 2平面 (交わる、平行)
- 直線と平面 (交わる、平行、平面上)
- 2直線 (交わる、平行、ねじれ)

### 15 投影図

### 16 表面積、体積

- 角柱、円柱の表面積、体積
- 角錐、円錐の表面積、体積
- 球の表面積、体積

## データの活用

### 17 度数分布表とヒストグラム

- 度数分布表、累積度数、相対度数、累積相対度数
- ヒストグラムと度数折れ線
- 平均値、範囲、中央値 (メジアン)、最頻値 (モード)
- 確率とは、、、